

資料1

第2回新しい「三重のものづくり産業」のあり方検討 有識者会議

第2回有識者会議アジェンダ

第2回有識者会議のタイムテーブル

時間	協議事項
13:57	オンライン会議開催にあたって
14:00 - 14:25	資料確認、県内ものづくり企業のあり方、県内施策案説明 (25分)
14:25 - 15:05	5年後の三重県のものづくり産業が目指すべきあり方像について (40分)
15:05 - 15:50	ものづくり産業のデジタル技術活用に向けた施策の重点強化案について (45分)
15:50 - 16:00	議論総括、事務連絡 (10分)
16:00	オンライン会議終了

有識者会議の目的と趣旨

目的

「みえモデル」に基づき、コロナ禍等社会経済の変化に対応し、生産性の向上と競争力強化が図られる新しい「三重のものづくり産業」のあり方に向けた将来像を描くとともに、それを具現化していくロードマップを検討する。これらの検討にあたり、産官学金の専門的な知見を有する有識者から現下のコロナ禍や経済情勢をふまえた意見を徴する。

第2回は、5年後の三重県のものづくり産業のあり方像及びそのあり方を促す具体的な施策内容(案)に関して専門的見地から議論いただき、あり方像、施策内容の成功のポイント抽出を図る。

趣旨

「新たな日常」に適應し、DXのイノベーションをとらえた中長期的な政策として、新しい「三重のものづくり産業」のあり方の将来像とそれを促していくロードマップのとりまとめを図りたい。中長期的な「三重のものづくり産業」の方向性に加えて、令和3年度以降の具体施策の展開方向について、それぞれの専門的見地からご意見ご提案をいただきたい。

5年後の三重県のものづくり産業が目指すべきあり方は、以下のとおり

三重県ものづくり産業が目指すべきあり方像(案)

～ Society5.0に適応した強靱なものづくり産業の形成～

Society5.0や5Gの普及により、これまで以上にヒト・モノ・カネ・情報がつながる時代が訪れる。5年後の三重県では、ものづくり産業のデジタル技術のさらなる活用が推進され、これまでになかった生産性向上や新たな付加価値が創出されている。

(1)「部門間及び企業間の連携強化」

生産過程のみならず、企業のあらゆる部門(総務・経理、調達・物流等)において、デジタル技術を活用した業務改革が推進され、県内ものづくり中小企業・小規模企業等の経営能力及びそれを支える経営基盤の向上が図られている。また、企業内だけにとどまらず、バリューチェーン等をはじめとする企業間においても、データ連携が推進され、企業の競争力が高められている。

(2)「既存事業の深化」

既存事業領域において、あらゆる部門でのデジタル技術を活用した業務改革の推進及び部門間のデータ連携によって、他県企業と比較し市場の変化に機敏に対応したスピード感あふれる事業運営と高い収益性の確保が実現されている。

(3)「新事業の創出」

県内ものづくり産業において、デジタル技術の活用により産学官金の連携がより一層推進されている。これにより、ヒト・モノ・カネ・情報の経営資源のシェアリングが盛んになるとともに、新たなニーズに対応した新事業が創出されるなど、県内ものづくり産業が進化している。

「人材の確保・育成」

高いデジタル技術を保有する経営者や技術者、多様な専門人材が交流し、新たな価値を創出している。また、産学官金のデジタル人材が県内で育成され、地域のものづくり企業に就職している。デジタル技術を活用したものづくり産業の強化の取組が持続的に共創され、県内でデジタル人材の育成から活用までの好循環が持続している。

「固有技術の高度化」

自社の競争力の源泉である固有技術を磨き上げ、競争力を強化し、事業拡大や新たな事業領域への事業展開を実施している。デジタル技術等を活用した試作開発、属人化した職人技能のデジタル・標準化による継承等、技術の高度化が進んでいる。

施策の大分類と、第1回有識者会議における委員からの示唆、アンケート調査、ヒアリング調査、各種調査報告書等から、重点強化案を設定した

施策の重点強化案

ものづくり経営力の強化(企業内の取組)

(1)企業内の体制強化

1. デジタル技術を社会の基盤技術とする経営戦略の立案支援・企業内浸透支援
2. デジタル技術に精通した組織の編成支援
3. 新規市場への展開(デジタルツインを活用した販路開拓)
4. 総務・経理、調達・物流等企業のあらゆる部門におけるデジタル技術を活用した業務改革を目的としたデジタル技術導入の支援(各工程におけるデータ取得・分析支援、部門間データ連携強化ハンズオン支援、データによる業務管理・業務改善の支援、リアルタイムなデータを活用した進捗管理、経営判断など)

(2)デジタル技術の強化

1. デジタル技術の導入試行、実装の技術的・財務的な支援
2. 固有技術の磨き上げ支援、強みとデジタル技術を融合させるための業種別技術支援(自動車関連産業かつTier2,3向けなど)
3. 企業内サイバーセキュリティの強化の支援

人材確保・育成

変革を実現する人材の育成・確保と強化

1. 経営戦略(事業戦略・財務戦略)とデジタル技術に精通した経営者の育成
2. 産学官が連携したリカレント教育の推進とその能力を事業で活用できる機会の創出
3. 県内の高専と企業との「デジタル技術実習」の支援(県内高専での長期インターンシップ応用など)
4. 海外人材の採用支援
5. 新しい産業を生み出す担い手の育成支援(イノベーションを生み出すための若年層からのデジタル教育の推進)
6. ものづくり人材の交流機会の創出支援
7. 副業・週末起業等の県内での活動機会創出のためのマッチング、実証フィールド提供
8. ものづくり産業向けのワーケーション導入

企業間のつながりの構築と基盤整備

(1)企業間の連携強化

1. 生産性向上、規模拡大を志向する中小事業者に向けた支援(大企業とのマッチング、デジタル連携支援など)
2. 金融機関との連携によるデジタル技術導入や設備投資支援
3. 県内企業の事業承継・M&A・再生の更なる円滑化支援
4. 中小企業を含むサプライチェーン全体でのデータ連携
5. 中小企業を含むサプライチェーン全体での事業継続計画の策定

(2)デジタル分野のインフラ整備

1. 県内のものづくり産業集積地にデジタル特区を形成し、テスト・フィールドの提供や県内企業による支援参加によりDX推進活動を支援
2. 三重大学、地域連携未来社会連携研究機構との連携による先進技術導入・活用支援
3. ものづくり産業のデジタルライゼーションを推進する機構の設置
4. デジタルものづくり企業の誘致
5. 三重県工業研究所のデジタルライゼーションツール、試行・シミュレーション装置等の充実化
6. デジタル自治体の実現